

2021年4月9日

原発をなくす全国連絡会  
各加盟団体御中

## トリチウム汚染水(ALPS処理水)の海洋放出を許さないための 緊急のとりのくみのおねがい

原発をなくす全国連絡会

毎日のご奮闘に敬意を表します。

4月7日、菅首相は、全漁連の岸宏会長、福島県漁連の野崎哲会長らと官邸で面会し、トリチウム汚染水について、海洋放出の方向を示しました。そして、4月13日にも関係閣僚会議を開催し、海洋放出を決定する方向であると報道されています。

漁業関係者だけでなく、福島県民をはじめ多くの国民が反対の声をあげているもとの、海洋放出を強行することは許されません。

つきましては、海洋放出を許さないための緊急行動を提起しますので、積極的なとりのくみをおねがいます。

記

### 1. 緊急の抗議・要請文を郵便、ファックス等で 菅首相、梶山経済産業大臣に送ってください。

送付先は次のとおりです。

<菅義偉内閣総理大臣あて>

〒100-8968 東京都千代田区永田町2丁目3番1号

内閣総理大臣 菅義偉様

FAX 03-3581-3883 (首相官邸)

<梶山弘志経済産業大臣あて>

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1-3-1

経済産業大臣 梶山弘志様

FAX 03-3580-0879

(資源エネルギー庁 原子力発電所事故収束対応室)

### 2. 緊急の官邸前抗議行動を行います。

日時 4月12日(月) 12:15~13:00

場所 首相官邸前 ※予定していた新宿イレブン行動を官邸前行動に変更します。

以上

2021年4月 日

内閣総理大臣 菅義偉 様  
経済産業大臣 梶山弘志 様

## トリチウム汚染水（ALPS 処理水）の海洋放出を行わないこと とを求めます

（個人・団体名 \_\_\_\_\_）

東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から 10 年を迎えました。今なお多くの人が避難生活を強いられ、復興に向け懸命の努力が続いています。

こうした中、4月7日、貴職らは、全漁連の岸宏会長、福島県漁連の野崎哲会長らと官邸で面会し、トリチウム汚染水について、海洋放出の方向を示しました。そして、4月13日にも関係閣僚会議を開催し、海洋放出を決定する方向であると報道されています。こうした動きに強く抗議するとともに、海洋放出を絶対に行わないことを強く求めるものです。

昨年来の政府による意見聴取等でも明らかなように、漁業者をはじめ多くの福島県民は汚染水の海洋放出に反対か慎重な対応を求めています。福島県内においても、県議会をはじめ県内市町村の 7 割を超える市町村議会で反対や慎重な対応を求める意見書や決議が採択されています。

もし、汚染水が海に流されるならば、風評被害はもとより、本格操業をめざし、移行期間に移った福島県の漁業に壊滅的な打撃を与え、これまでの努力が水泡に帰すこととなります。漁業者をはじめ多くの県民が反対や慎重の声をあげているもとの、海洋放出を強行することは許されません。

また、福島第一原発構内では中身が不明のコンテナ 4000 基が新たに見つかるなど、東京電力のずさんな管理が明らかになったばかりで、柏崎刈羽原発の核防護をめぐる重大事象など東京電力の安全管理に国民的な不信が広がっています。もはや東京電力に原発の運転資格がないことは明らかで、安全対策にも極めて強い疑念を抱かざるをえません。

以上をふまえ、トリチウム汚染水の海洋放出は絶対に行わないこと、当面、陸上保管を継続し、国内外の英知を結集して解決をはかることを求めます。

以上